

第2章 日本国憲法と民主政治

2 日本国憲法の基本原理

6 平和主義と安全保障 (2) (教科書 p. 78~79)

■ポイント

- ①冷戦後、自衛隊の性格はどのように変わってきたか。
- ②安全保障関連法とは何か。
- ③これからの安全保障政策の問題点とは何か。

冷戦終結後の自衛隊と日米安保 [p.78]

冷戦終結後の安全保障状況の変化

→自衛隊の性格の変容

自衛隊の海外派遣

[] (1992年)

…PKO参加5原則にもとづきカンボジアなどに自衛隊派遣

[] (2001年)

…米軍のアフガニスタン攻撃支援に海上自衛隊を派遣

[] (2003年)

…米軍などへの後方支援などのため陸上自衛隊などをイラクに派遣

海賊対処法 (2009年)

…ソマリア沖などで多発する海賊対策に海上自衛隊などを派遣

日米 [] の制定と改定

2015年の改定で、日本周辺に限られていた自衛隊の米軍支援は世界規模にまで拡大

[] の確立

2003年…武力攻撃事態対処法、改正自衛隊法などの3法制定

2004年…国民保護法などの7法が制定

[] 設置 (2013年)

…首相と関係大臣らが安全保障の重要事項を審議

[] の成立 (2015年)

国際平和支援法

…国際社会が一致して対応する戦争や紛争が起きたとき (国際平和共同対処事態) に自衛隊を派遣する恒久法

平和安全法制整備法…以下のような関連10の法律を改正

重要影響事態法 (周辺事態法を名称変更) …自衛隊が他国軍を地球規模で後方支援

武力攻撃事態対処法…「存立危機事態」における集団的自衛権の行使容認

改正PKO協力法…自衛隊の武器使用基準を緩和、他国軍などへの駆けつけ警護可能

→憲法第9条で認められる [] の範囲をこえ違憲との指摘もある

これからの安全保障政策 [p.79]

[] 再編

沖縄 [] の移設、海兵隊の一部撤退

米軍と自衛隊の連携強化

東アジアの安全保障上の問題

北朝鮮の核兵器、ミサイル開発

南沙諸島をめぐる周辺諸国の対立 など